

平成17年度 事業計画

わが国経済は全体として緩やかに回復を続けているものの、為替や海外経済の動向、原油・素材価格上昇などの懸念から先行きは不透明さを増しており、北陸経済も本格回復を実感できる状況にはまだ至っていない。また昨年は各地で自然災害が頻発し、治山治水の重要性を再認識させられるとともに、自立型社会構築に向けて三位一体の改革が大きく動き出した年であった。

このような中、政府におかれては、景気の本格的回復に向けて、民間活力を高める規制緩和をはじめ、中小企業支援など一段の景気浮揚策となる経済諸施策、並びに安全・安心な国づくり及び実効ある地方分権の推進に向けての諸対策の速やかな実行を望むものである。

さて、当連合会は、北陸地域が「環日本海交流のゲートウェイ」としての機能を果たすべく、「中期アクションプラン」を策定し、「社会資本整備の促進」と「21世紀にふさわしい魅力ある地域づくり」を目指して、全力を挙げて諸事業に取り組んできたが、今年度はその最終年度となる。これまで培った成果を確実なものにするとともに、急速に拡大する東アジア交流圏の中で人・物の交流を盛んにするため、ゲートウェイ機能の具体化に向けた「第2次中期アクションプラン」を構築し、激動する社会・経済情勢への対応と、魅力ある北陸地域像の確立・発展に向けての事業活動を強力に展開する。

<基本方針>

I 社会資本整備の促進

II 活力にあふれる地域づくり

III 平成 22年度を目途とした「第2次中期アクションプラン」の策定

<重点課題>

I 社会資本整備の促進

「環日本海交流のゲートウェイ」としての機能を果たすための社会資本整備の促進については、治山治水など安全・安心な地域づくりの着実な政策実行を求めつつ、以下について関係機関と連携し強力な諸活動を展開する。

1. 北陸新幹線

- ・金沢以西のフル規格による早期整備の促進

2. 高規格幹線道路

- ・東海北陸自動車道をはじめ、舞鶴若狭自動車道、能越自動車道、中部縦貫自動車道等の早期全線開通

II 活力にあふれる地域づくり

1. 北陸S T C事業活動の推進

- (1) 北陸S T Cサロンの継続実施
- (2) 実用化支援強化
 - ・コーディネート活動の強化
 - ・目利き委員会の充実
 - ・（財）北陸産業活性化センターとの協働
- (3) 北陸ものづくり創生協議会やその他支援機関との連携強化
- (4) 知的財産価値への啓発

2. 北陸広域連携の強化

- (1) 広域観光事業の推進
 - ・北陸広域観光推進キャンペーン事業の展開
 - ・国内外他地域との観光ネットワークの形成に向けた取組み

- (2) 循環型社会形成の推進
 - ・「北陸環境共生会議」の継続実施
- (3) 自立型社会構築に向けた地方分権の推進
 - ・「地域行政懇話会」の継続実施
- (4) 北陸三県、北陸電力などと共働した「北陸国際投資交流促進会議」による企業誘致活動の継続実施
- (5) 各経済団体、関係機関との懇談会の継続実施

3. 環日本海交流の促進

- (1) 交流事業の実施
 - ・「6回北陸・韓国経済交流会議」への参画
(於：韓国慶尚北道)
 - ・中国との経済交流の検討
 - ・人的ネットワークの強化
- (2) 対岸諸国との交流促進に向けた情報収集
- (3) 情報発信の充実・強化
 - ・講演会等の実施（環日本海講演会等）
 - ・大学等への講師派遣

Ⅲ 平成 22年度を目途とした「第2次中期アクションプラン」の策定

- ・東アジアを視野に入れた環日本海交流のあり方
- ・ゲートウェイ機能の具体的構想（人・物流のあり方）

<事業活動>

1. 委員会活動

北陸地域の発展に向けた諸課題について調査・研究し、適時適切な活動を行う。

(1) 総合対策委員会

- ・ 「第1次中期アクションプラン」の評価を行うとともに、新たな社会潮流や課題に対応した「第2次中期アクションプラン」を策定する。
- ・ PFI事業の普及・啓発に向けたセミナー等の実施
- ・ 北陸三県、他地域の道州制に対する動向調査、情報収集

(2) 広域連携委員会

- ・ 広域連携の推進
 - a. 「北陸イメージアップ推進会議」による北陸地域のPRキャンペーン（自然、伝統等）の実施
 - b. 「北陸環境共生会議」による三県リサイクル認定製品の普及拡大に向けた取組み、地球温暖化防止啓発活動等の実施
 - c. 「北陸国際投資交流促進会議」による国内の大規模展示会への出展やアンケート調査等企業誘致活動の実施

(3) 社会基盤整備委員会

- ・ 北陸新幹線の金沢～南越間フル規格による早期整備に向け、沿線自治体等と連携した要望活動等の実施
- ・ 高規格幹線道路の早期整備に向け、関係自治体等と連携したフォーラム、要望活動の実施
- ・ 「安全・安心」な地域づくりに向け、他経済団体と連携した要望活動の実施

(4) 産業開発委員会

- ・ 北陸企業のための各種支援制度についてのセミナー開催等

2. 支援・連携活動

(1) 北陸AJECに対する支援、連携

- (2) 「北陸イメージアップ推進会議」に対する支援、連携
- (3) 「北陸国際投資交流促進会議」に対する支援、連携
- (4) 「北陸広域観光推進協議会」に対する支援、連携
- (5) 「北陸技術交流テクノフェア」の福井市等との共催
- (6) 東海北陸道地域整備推進協議会への参画
- (7) 「中部の観光を考える百人委員会」への積極的参画

3. 交流・懇談会活動

- (1) 会員懇談会等の開催
各地域が抱える諸課題について、当連合会の事業活動に反映させるとともに会員相互の意思疎通と親睦を図るため、各地域の会員懇談会の充実および新春経済懇談会の開催。
- (2) 関係機関との連携
高速交通体系の早期整備、新技術・新産業の育成など、北陸地が抱える諸課題について、行政当局や他経済連合会などとの連携。

① 行政当局との連携

- a. 第 33回三県知事との懇談会 (開催地：福井市)
- b. 第 13回北陸・近畿両地方整備局との懇談会
(開催地：富山市)
- c. 第 12回中部・近畿両経済産業局との懇談会
(開催地：金沢市)
- d. 第 5回北陸総合通信局との懇談会 (開催地：福井市)

② 他経済連合会・団体との連携

- a. 第 47回西日本経済協議会
(開催地：名古屋市、中部経連幹事)

- b. 第 32回(社)日本経済団体連合会との懇談会
(開催地：金沢市、北経連幹事)
- c. 第 28回(社)中部経済連合会との経済懇談会
(開催地：名古屋市、中部経連幹事)
- d. 第 10回北海道・東北・北陸の三経済連合会による懇談会
(開催地：岩手県花巻市、東北経連幹事)

4. 政策提言活動

地域の活性化や社会資本整備等、北陸地域の発展に向けての諸課題について、関係機関と密接な連携・協力のもとでの適時適切な提言、要望活動の展開。

5. 広報広聴・情報提供活動

- (1) 会報並びに調査研究による成果報告書の刊行、図書並びに飼料の収集と公開等の実施。
- (2) ホームページによる活動報告の掲示及び告知等の情報発信。
- (3) アンケート調査等による経営環境及び業況調査。
- (4) 当連合会に対する意見や要望の把握と事業運営への反映。

6. 組織基盤強化活動

経済・社会情勢の変革にタイムリーかつ的確に対処するため、会員との連携強化及び会員増強等を図り、強固な組織基盤を構築。

以上